

# 第11回「寿都町対話の場」開催（7月21日）

文献調査の進捗状況報告と意見交換が行われました。

## 🏠 文献調査の進捗状況（報告）

- ◆収集した761の文献・データの詳細名をリストにしました。
- ◆評価を進めるにあたっては、国の審議会において専門家のご意見を伺うなど、丁寧に取り組んでいく考えです。

※文献・データのリストは、NUMO寿都交流センターにありますので、ご希望の方はお気軽にお問い合わせください。（NUMOホームページでもご覧いただけます。）

## ～報告のあと、質疑応答が行われました～

- 文献調査は2年と聞いており、今秋には終了すると思っていたが、実際には、いつ頃終了する予定なのか？

⇒（NUMO）

文献・データに基づく評価は、日本では初めての取り組みということもあり、現時点でどれくらいかかるのか見通せない状況です。

- 文献調査の終了時期が、現時点で見通せないことは分かったが、町の住民投票はいつ頃を予定しているのか？

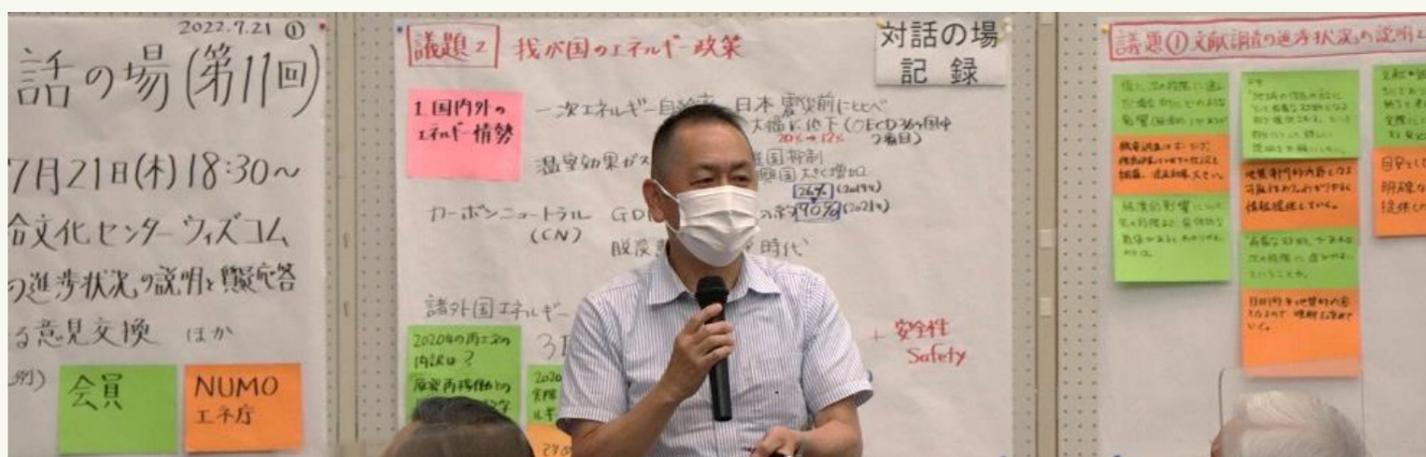
⇒（片岡町長）

文献調査が終了し、町民のみなさんの地層処分に対する理解が行き届いた中で、住民投票を行いたいと考えているので、もう少し時間がかかると考えています。全国で複数箇所が文献調査に手を挙げ、全国各地で議論が始まれば、そうした理解がさらに行き届くような雰囲気になると思います。



## 🏠 幌延深地層研究センター視察後の意見交換

- 地下は安全な場所だということ、安全面に配慮された施設であることが確認できた。
- 風評被害が起こりそうな施設の近くに、食品関係の大企業があることに驚いた。
- 百聞は一見にしかずというから、自分の周りの町民の方にも、視察してみたらどうかと声掛けし、前向きな方もいた。
- 幌延のほか、六ヶ所村の施設なども、多くの町民の方に視察してもらいたい。
- 近々、会員3人が率先して作った少人数グループにて、六ヶ所村を訪問し、地元の方々と意見交換を行うことになっている。  
(7月26日～27日で六ヶ所村を訪問し、意見交換を実施済みです。)
- 少人数グループによる視察などの活動を、高校生など若い層の人たちにも広めたらいいと思う。
- 地層処分は依然として関心が低く、選挙などでも話題にあがらない。関心を持ってもらうためにも、問題意識が高いと思われる原発立地地域の方と意見交換をやってみたら、広がりができるのではないかな。



いただいたご意見やご質問は、NUMO寿都交流センターに掲示してあります。  
(NUMOホームページでもご覧いただけます。)

「対話の場」における配付資料や映像などは、NUMOホームページおよびNUMO寿都交流センターでご覧いただけます。また、記録したDVDもご用意しますので、ご希望の方はお気軽に、寿都町対話の場事務局（NUMO寿都交流センター）までお問い合わせください。



原子力発電環境整備機構(NUMO)  
<https://www.numo.or.jp>

■NUMO トップページから、以下の順にクリックしてください。  
「文献調査の状況」→「文献調査実施中の地域」→「寿都町」→  
「これまでの経緯」→「2022年7月21日 対話の場(第11回)を開催」

NUMOホームページはこちら

NUMO

検索

お問い合わせ先：原子力発電環境整備機構 NUMO寿都交流センター E-mail：suttu@numo.or.jp

〒048-0401 寿都町字新栄町113-1 (TEL)0136-75-7576 (FAX)050-3512-1728

(開館時間：平日10時～17時)